

庄内国有林の森林計画に関する住民懇談会の概要について

庄内森林管理署

平成30年4月を始期とする庄内森林計画区の地域管理経営計画等の策定に当たり、住民参加の森林づくりを進める一環として、地域の皆様からご意見・ご要望をお伺いする「住民懇談会」を開催しましたので、その概要を公表します。今後は、いただいたご意見等を参考に、地域管理経営計画等の策定作業を進めていくこととします。

- (1) 開催日時 平成28年12月14日(水) 13時30分～16時15分
- (2) 開催場所 山形県鶴岡市 マリカ西館3階 市民ホール
- (3) 出席者 森林計画検討委員・国有林モニター5名、一般参加者19名、山形県庄内総合支庁2名、鶴岡市1名、酒田市1名、局・署関係者26名 計54名
- (4) 主な意見等の概要

子孫が継続して木材を使っていけるよう、伐採後の植栽や天然更新をしっかりと行ってほしい。針葉樹が適していなかった山は広葉樹に戻すなど、それぞれの地域に適した木を植えてほしい。松くい虫被害が過去最大となり憂慮している。引き続き予防・伐倒駆除をしっかりと行ってほしい。庄内海岸林の機能維持のため、松くい虫被害木伐採後はマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ苗の植栽を検討してほしい。

路網計画や森林施業等が円滑に行えるよう、民有林・国有林の連携を進めてほしい。

森林の利用には、木材生産のみならず森林浴など人の心身を和らげるような視点も重要である。

小学生や保育園児による「遊々の森」活動等の森林環境教育への技術指導や、地域のボランティア活動等への協力を引き続き行ってほしい。



住民懇談会の様子



意見交換(後方は国有林野施業実施計画図)